

Super Baby Timer

FULL AUTO TURBO TIMER / AUTO-DETECTION CIRCUIT

取扱説明書

この度はPIVOTターボタイマーをお買い求めいただきましてありがとうございます。お取り付けの前に必ず本説明書をよくお読み下さい。なお配線ミス等による本体の故障、車輛のトラブル等に関しては一切責任は負えませんのでご了承の上、確実なる作業をお願い申し上げます。

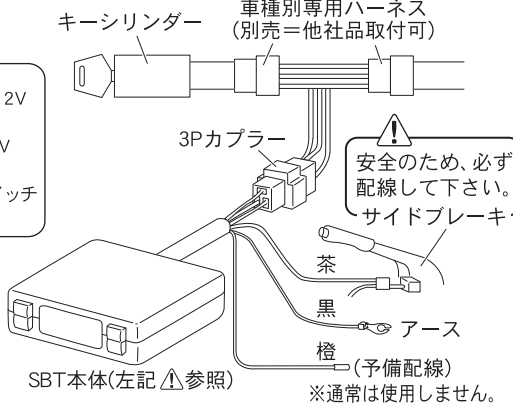
セット内容	・カットギボシ×1	・延長赤コード×1
・SBT本体	・両面テープ×1	・取扱説明書（保証書付）

取付方法

基本配線

(SBTからの各配線説明)
 赤=常時(キーOFF)⊕12V
 黄=IG(キーON)⊕12V
 青=ACC又はIG2⊕12V
 黒=ボディーアース
 茶=サイドブレーキスイッチ
 橙=(予備配線)

注意
 本体の固定は必ずフルオートモードの作動確認と調整を行ってからにします。



接続方法 ※接続には車種別専用ハーネスをご使用下さい。(他社品可)

取付時のご注意

- 安全作業のため、作業中はバッテリーの⊖ターミナルを外して下さい。
- 接続場所を検電する際は、⊖ターミナルに戻して下さい。
- カットギボシ、カプラーは確実に取り付け、接触不良やショート等しない様、ご注意下さい。

- キーシリンダーに取り付いているハーネスを抜き、中間に別購入した車種別専用ハーネスを入れて接続します。
 - SBT本体から出ている3Pカプラーと、専用ハーネスから出ている3Pカプラーを接続します。
 - 黒コードをボディーのアースのとれるネジへ共締めします。
 - 茶コードをサイドブレーキスイッチの配線へ、付属のカットギボシ(又は半田付け)にて確実に接続します。
- サイドブレーキスイッチ接続場所の確認
 キースイッチON(エンジンは作動させない)の位置で(引くと0V、降ろすと⊕12V)の配線です。

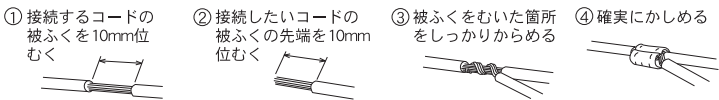
注意 凍結防止のため等で、サイドブレーキへの配線を行わない場合は、茶コードを必ずアースへ配線して下さい。

注意 タイマー作動中の誤走行を防止するため、サイドブレーキスイッチへの配線は必ず確実に接続して下さい。接続しなかったり、接触不良になっている場合は、タイマーが作動せず右のよう表示がされます。

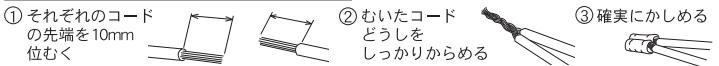
注意 配線接続が終了しましたら、本体を両面テープで固定する前に必ず「オートモードの作動確認と調整」を行って下さい。

カットギボシの使用法 ※半田付けができる場合は行って下さい。

使用方法1 配線の途中にコードを接続する場合

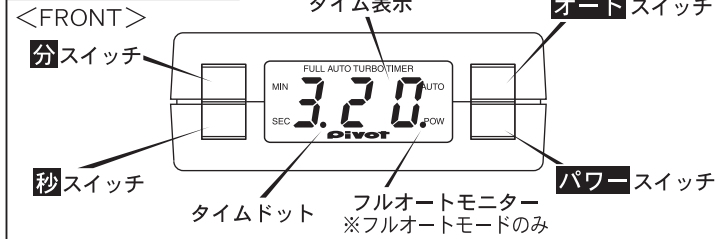


使用方法2 切断線どうしを接続する場合



※カットギボシのかしめには圧着工具をご使用下さい。工具がない場合はラジオペンチ等で折たたむようにしっかりとかしめて下さい。(右図)
 ※不確実なかしめは断線の原因となりますので、かしめた状態を今一度お確かめの上、確実にビニールテープ等で絶縁をして下さい。

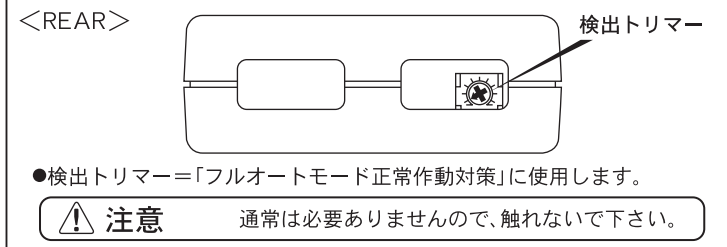
各部の名称と機能



- **パワー** スイッチ=電源ON、OFF用。
- **オート** スイッチ=マニュアル(0~9分50秒)・暖気(10分~19分50秒)・フルオートの各モード切替用(押すごとに切り替わり)
- **分** スイッチ=マニュアル(0~9分50秒)・暖気モード(10分~19分50秒)時の分セット用
- **秒** スイッチ=マニュアル(0~9分50秒)・暖気モード(10分~19分50秒)時の秒セット用
- **タイム表示**=各モードの設定時間を表示。タイマー作動中はカウントダウン。

注意 **カウントダウン** フルオート・マニュアル=1秒単位
 暖気=10分以上は10秒単位、9分59秒より1秒単位

- **タイムドット**=各モードにより、点灯場所が変化。(下図参照)



操作方法 (□は各スイッチの表示です。)

フルオートモード

注意 フルオートモードは走行状況に応じ、最適なタイムを自動演算しますので、渋滞走行や低速運転時、信号待ち等では少なく表示され、高速や連続した山道等の高回転時は多く表示されます。尚、フルオートモード以外で使用されていても、電源OFFでもタイムは自動演算されています。

- ① **[POW]** を押して電源をONにします。(タイム表示点灯)
- ② **[AUTO]** を押してフルオートモードにします。
 押すごとに、マニュアル→暖気→フルオート→マニュアル...と切り替わりますので、フルオートモード(フルオートモニター点滅状態)にします。
- ③ クルマを走行させます。⇒走行状況に応じてタイムが自動計算され、表示されます。
- ④ クルマを停止し、サイドブレーキを引いてキースイッチをOFFにします。
 ⇒時間が表示されていればタイマー作動し(作動中はアラーム音とカウントダウンでお知らせ)、表示時間終了後エンジンが停止します。
 ⇒表示が0.00ならばキーOFFと同時にアラーム音が一回鳴り、エンジンは停止します。

マニュアル・暖気モード

- ① **[POW]** を押して電源をONにします。(タイム表示点灯)
- ② **[AUTO]** を押して使用したいモードにします。(タイムドットの位置で確認)
- ③ -1 マニュアルモードの設定(0~9分50秒まで 10秒単位)
[MIN]、**[SEC]** を各々押し、作動時間を設定します。
- ③ -2 暖気モードの設定(10分~19分50秒まで 10秒単位)
[MIN]、**[SEC]** を各々押し、作動時間を設定します。
- ④ タイマーを停止し、サイドブレーキを引いてキースイッチをOFFにします。
 ⇒タイマー作動し(作動中はアラーム音とカウントダウンでお知らせ)、設定時間終了後、エンジンが停止します。

注意

1. タイマー作動時は、M/T車はギアをニュートラルに、A/T車は(N)か(P)レンジにして、サイドブレーキを引いてから作動させて下さい。
2. タイマー作動中にサイドブレーキを降ろす(解除する)と安全回路が働いて停止し、右のような表示がされます。
3. タイマー作動中にエンジンを停止させたい場合は**[POW]**を押して電源をOFFにすると停止できます。

サイドブレーキによる停止時の表示



⚠ ターボタイマー使用(作動確認)時のご注意 ⚠

本品を安全にご使用いただくため、特に次の点にご注意下さい。

ハンドルロックにご注意

タイマー作動中はハンドルがロックされ、そのままの走行は大変危険です。パワースイッチを一度切ってからご使用下さい。



せまい場所では使わない

排気ガス中毒になる様なせまい場所やもえやすいもののある場所では使用しないで下さい。



クルマを他人が使う場合はパワースイッチを切る

予期せぬ事故防止のため、他人がクルマを使用する時はパワースイッチを切ってください。



車中に人を残して使わない

特に小さなお子様を車内に残している時は使用しないで下さい。



フルオートモードの作動確認と調整

確認作業

停車状態でエンジン回転を2500~3000rpmのままにして、約1~3分経つと表示が上がれば正常です。

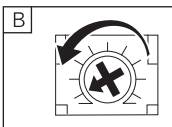
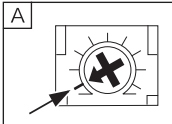
1

1 回転を上げてもタイムが上がらない場合

上記の確認でタイムが上がらないクルマの場合、検出信号が小さいため、下記の調整を行ってください。

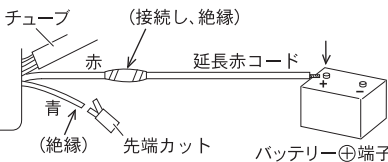
① 本体ウラの検出トリマーを確認します。

- A 検出トリマーが左いっぱいにはさまれている場合は、一旦盛右へ回した位置(図A 矢印)に合わせて再度確認します。(この位置が検出感度の最も高い位置になります。)
- B 本体ウラの検出トリマーが右にある場合は、少しづつ左へ回し、タイムが上がる位置にしてください。(図B)
- C 取付車種が軽自動車の場合は、プロアファン又は、ヘッドライトをONにした状態で再度確認します。



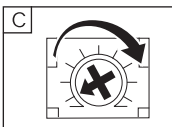
② 上記①でも上がらない場合は、コードを束ねてある黒チューブから、赤と青のループコードを抜き出して先端をカットし、赤コード側に付属の延長赤コードを接続し、バッテリー⊕端子へ直接、接続して下さい。

注・赤コードの延長部、及び青コードの先端は必ず絶縁して下さい。



2 アイドリングで表示が上がりすぎてしまう場合

本体ウラの検出トリマーを少しづつ右へ回し、上がり過ぎないようにします。(図C)



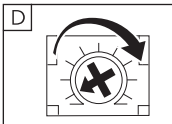
確認作業

表示が上がったところでクルマをアイドル状態にして、しばらくしてから表示が0.00に戻れば正常です。

2

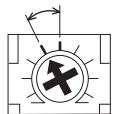
3 0.00に戻りきらない場合

本体ウラの検出トリマーを少しづつ右へ回し、0.00に戻るようになります。(図D)
(注調整した場合は、必ず「確認作業①」を行ってください。)



⚠ スバル車での調整について

本体をスバル車へ取り付けた場合、大部分の車種で0.00に戻りきらない症状が出ます。この場合は、検出トリマーを右図の位置で調整すると、なくすことができます。(0.00に戻る場合は、検出トリマーを調整しないで下さい。)



⚠ 注意

1. 検出トリマーを右へ回し過ぎると、走行時にタイムが上がらなくなる場合がありますので、調整し過ぎないようにして下さい。
2. 一部車種で、オートチョーク作動中、エアコン、電動ファン作動時にタイムが上がってしまう場合がありますが、故障ではありません。

故障と思われる前に ※修理依頼なさる前に、次の項目をご確認下さい。

症状	原因
キーONでパワースイッチを押しても表示が出ない。	・黒コード(アース)の接続場所もしくはは接触不良。 ・間違った車種別専用ハーネスを使用している。
タイマーは作動するが、エンジンは止まってしまう。	・間違った車種別専用ハーネスを使用している。 ・下記△参照
タイマー表示が-P-となりタイマー作動しない。	・サイドブレーキが確実に引かれていない。 ・茶コードの接続場所もしくはは接触不良。
フルオートモードにてフルオートモニターが点滅しない。	・モードスイッチにてフルオートモードになっていない。 ・エンジンが停止している。
フルオートモードが正常作動しない。	・自動計算する信号が不完全で正確に検出できない。 ⇒フルオートモードの作動確認と調整をご参照下さい。



軽自動車の一部の車種で、タイマーは作動するがエンジンが止まってしまう場合は、タイマー作動時 (=キーをOFFにする時) に、多少エンジン回転をアクセルで上げた状態で行って下さい。



本製品はバッテリーの異常電圧降下によるトラブル防止の為、自動リセット回路が働き、マニュアル・暖気の各設定が0表示になる場合があります。この場合はクルマのバッテリーをご確認下さい。

⚠ オートライトコントロール装着車について

オートライトコントロール装着車に本器を取り付けた場合、オートライトコントロールによってライトが点灯した状態(ライトスイッチAUTO)で本器を作動させると、タイマー終了後もライトが点灯状態になる車種があります。(マークII系、ソアラ、セドリック、グロリア、シーマ等)
この場合は、タイマー作動中はヘッドライトをOFFにしておいて下さい。



品質保証 (お買い上げ日より一年間)

本製品は当社において厳重なる品質管理のもとに製造、検査したものです。取扱説明書の指示に従って正常なご使用の中で故障が生じた時は、お買い上げ日より一年間は無償修理いたします。ただし次の場合は保証期間中でも有料修理となりますのでご了承ください。
1. 配線ミス、使用上の誤り、分解修理、改造のあるとき。

保証書の下記にご記入なきとき。
製品取付後に発生した事故、トラブル等には当社は責任を負いません。

品名: SBT-1000 車種: 年式: 型式: 購入日: 年 月 日

お客様: 住所: 電話番号: 故障内容:

無効

販売店名

住所

TEL